

橋下・維新の会共同代表（大阪市長）の「慰安婦制度」発言に抗議し、
発言の撤回と謝罪、すべての公職からの辞任を求める

「5・21 府庁前緊急抗議行動」

5月13日の記者会見以降、橋下・日本維新の会共同代表（大阪市長）の「慰安婦」発言に関わる数々の暴言は、女性の人権を踏みにじるもので絶対に許せることではありません。

また日本維新の会の石原慎太郎共同代表も「軍と売春はつきもの」と呼応しました。松井幹事長（大阪府知事）も（「慰安婦」は）現実にあったわけで必要とされていた」と追認し、さらに、橋下・石原両共同代表は19日の会談で、慰安婦に関する橋下発言を撤回する必要はないとの認識で一致し、過去の「侵略」の定義など歴史認識について維新の会として見解をまとめないことも確認するなど、自らの発言と居直りの姿勢を擁護しています。

まさに人権感覚が欠如した、人間の尊厳をおとしめる、許しがたい態度であり、既に多くの批判が国内外から巻き起こっていることは当然です。

大阪労連として、府議会開会日である5月21日（火）に、松井知事と維新の会府議団に対し、橋下暴言の撤回と謝罪・即時の辞職を求める緊急抗議行動を呼びかけ120名が参加しました。

抗議の発言は、女性が弁士にたちました。新婦人大阪府本部事務局長、大教組女性部副部長、非正規労働者部会事務局長、大阪労連女性部部長など各団体から怒りの訴えを行いました。

大阪労連女性部鈴木部長からは、「これら一連の動きは、私たち日本人が歴史の真実とどう向き合うかが問われている問題です。この大阪で、私たちの目の前で起こっている歴史を逆戻りする動きを見過ごすことはできません。権力を手にしている者が、言葉の暴力をふるい、弱者の人権を踏みにじるのであれば、私たちは、その権力を独裁者から奪い返し、正常な社会に戻さなければなりません。それが、民主主義のルールだと思います。橋下市長は、自らの暴言の責任を取って、今すぐすべての公職から辞任することを強く求めます。」と訴えられました。また、橋下氏のこういった人権を無視した人間の尊厳をおとしめることを平気のできるものが「教育基本条例」や「職員基本条例」を作り出すと大教組からも訴えました。参加者からも「そうだ！」と声も上がり、シュプレヒコールに賛同してくれる沿道の方もいました。



抗議行動の後、維新の会幹事長である松井知事と維新の会府議団に対し、「政党として、共同代表の橋下市長に対し、発言の謝罪と撤回、すべての公職からの辞任を要請すること」を求めました。要請には、大阪労連、大阪労連女性部、自治労連、府職労、福祉保育労、大教組、その他も含め9名が参加しました。

